

山田錦の振興策 3つの取り組み

① 生産者の支援

●山田錦グレードアップ支援金(平成29年度から継続)

山田錦の品質向上と生産振興を図り、生産者の農業経営の安定を目的に支援します。

●地力増進事業助成金

土づくりと堆肥利用の促進を目的に市内のJA(農業協同組合)が実施する堆きゅう肥の供給および散布を、市内水稲生産農家が利用した場合に、その料金の一部について、JAを通じて支援します。

●認定農業者・集落営農組織への支援補助金

認定農業者や集落営農組織を対象として田植機などの農業用機械器具の購入に要する経費の一部を補助します。



山田錦の田植え

② 国内外のPR

●海外日本酒品評会出品料助成

国内の日本酒消費低迷による山田錦の需要減少に対し、山田錦を使用した日本酒の海外での知名度向上とブランド力強化を図るため、海外日本酒品評会への出品料を酒造会社に助成します。助成にあたっては、山田錦の生産地として三木市や市内の地名が明記されている品に限定します。

●オリンピック・パラリンピック選手団へ日本酒を贈呈

市内で事前合宿を行った東京オリンピック・パラリンピック2020選手団に三木市産山田錦で醸造した日本酒の魅力を伝え、外国人観光客を三木市に誘致するため、市内酒造会社の日本酒を贈呈しました。



日本酒を持つフランスパラリンピック陸上チーム

③ 新しい農業の支援

●スマート農業の推進

山田錦の生産農家の高齢化とともに、担い手不足が問題となっています。そこで、次の10年先も農業が継続できる体制の整備に向けて、スマート農業体験など、より効率的な農業の実現に向けたセミナーを開催します。

●農福連携の推進

新たな雇用の確保と障がい者などの農業分野での活躍を図るため、農業と福祉が連携した取組を進めます。

●6次産業化の推進

1次産業の農業と2次産業の製造業、3次産業の小売業などの事業が総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組を進めます。



ドローンを活用した種まき



日本一の酒米
山田錦の振興
問(市)農業振興課 山田錦振興係

山田錦について

酒米の王様と呼ばれる山田錦は、1923年に兵庫農事試験場において「山田穂」を母に、「短稈渡船」を父として人工交配などを行い「山渡50・7」の系統名が付けられました。その後の品種比較試験の成績も優秀なため、1936年に「山田錦」と命名。奨励品種に編入されました。山田錦は良質な酒米の条件をすべて持ち合わせた、酒蔵が求めてやまない最高の酒米として、その名をとどろかせています。

良質な酒米の条件

- ①大粒で心白粒の中心にある白っぽいでんぷん部分がある
- ②たんぱく質や脂肪が少なく水分を含む量が適正である
- ③粒張り、粒揃いがよく、千粒重(整粒した玄米千粒の重さ)が重い



市内の現状

三木市は「山田錦」の生産量日本一を誇っています。しかし、コロナ禍で飲食店での酒類提供の自粛などが影響し、日本酒の消費が大きく減少したことで、作付面積、出荷量が減少するなど、山田錦を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。この状況を打破し、「山田錦」の生産を振興するため、市では、今年度より農業振興課に山田錦振興係を新設し、①生産者の支援、②国内外のPR、③新しい農業の支援を推進しています。

▼市内の出荷数量

年度	出荷数量 (30kg/袋)
H29	188,009
H30	164,633
R1	170,821
R2	149,034

約13%減少

▼市内の作付面積

年度	作付面積 (ha)
H29	1,543.2
H30	1,540.6
R1	1,538.5
R2	1,482.1
R3	1,219.8

約18%減少

ご家庭で簡単に
ドライフルーツが作れます!!

ドライフルーツや乾燥野菜にすることで、旨みが凝縮されるだけでなく、食物繊維も豊富に摂取できます。自家製だから無添加でヘルシー。好きなものを好きなだけ作れます。

ドライフルーツメーカー 5段トレイ

- 本体サイズ(約):幅315×奥行315×高さ270mm
- 重量(約):2.8kg ●電源コード:1.2m
- 電源:AC100V(50/60Hz) ●消費電力:240W

8,800円



トレイに薄切った果物や野菜を載せてスイッチを入れるだけ。温風がトレイ内に吹き込まれ、ドライフルーツや乾燥野菜が作れます。ウコンなどの漢方薬の乾燥にも便利です。

お問い合わせは **福農産業株式会社**
☎0794-82-1088 ☎0794-83-5615
三木市大村58番11 Eメール:honbu@nagara88.co.jp